

移住世帯が過去最多に

昨年度、市の定住サポート総合窓口（以下、窓口）を通じて移住した人は39世帯71人。移住世帯数は、3年連続で過去最多になりました。

相談・サポート体制が充実

長期化するコロナ禍の影響もあり、都市部から地方への移住を希望する人が増えています。令和4年度の窓口への相談は延べ2676件で、令和3年度より180件増加しました。市はこうした中、空き家紹介だけでなく、就職・就業相談や地域住民との顔合わせへの同行など、きめ細かなサポートで定住を支援。コロナ禍で始めた▽オンラインでの物件案内▽京都市に開設している「あやべ定住サポート京都サテライト店」▽写真



綾部市での田舎暮らしを知ってもらうセミナーも開催しています

IIでの出張相談などにも継続的に取り組んでいます。

また、本市への移住の大きな原動力になっているのが、市が運営する「移住立国あやべ」のホームページです。移住・定住に役立つ情報のほか、綾部市の魅力や暮らしを発信するなど、内容の充実にも努めています。

空き家登録を推進

現在の本市への移住希望登録者は、約1700組。一方、市の空き家バンクへの登録は60件程度で、希望者に紹介できる物件が少ないのが課題です。市は昨年度、今後の空き家の活用方法などを問うアンケートを実施。売却・賃貸を検討している所有者に、空き家登録を呼び掛けました。

移住者の受け入れを進めるには、空き家の流動化が鍵。市では、空き家相談会を開催しています。空き家バンクに関する相談・問い合わせは、定住・地域政策課 ☎(42)4270へ。

消費者トラブルから身を守ろう

5月は消費者月間

5月は「消費者月間」です。この機会に正しい知識と判断力を身に付け、消費者トラブルに巻き込まないようにしましょう。

困ったときは気軽に相談を

昨年度、市消費生活センターに寄せられた相談件数は142件。特にインターネット通販についての相談が多く、その内容は初回分のみ安く買える化粧品や健康食品の定期購入の解約に関するものでした。

同センターでは▽訪問販売で高額な契約してしまった▽電話勧誘で断り切れず契約をしてしまっ



「消費者トラブルFAQサイト」で検索するか、QRコードを読み込んでください
FAQ=よくある質問とその回答を集めたもの



た▽身に覚えのない請求が届いたなどの、消費生活の困りごとやトラブルの解決のお手伝いをしています。一人で悩まず、同センター ☎局番なしの188か ☎(42)4263へ気軽に相談ください。

注文前の確認が重要

消費者トラブルを避けるには事前の確認が重要です。例えば、インターネット通販の場合、注文前に▽返品や解約の条件などが明記されているか▽問い合わせ先の電話番号が国内か海外か▽商品やサービスの評判はどうかーなどを確認し、注文の最終確認画面を印刷して、契約内容を記録しておくでしょう。

また、国民生活センターが4月に開設した消費者トラブルFAQサイトII写真IIで、時間を問わずいつでも解決方法を調べることができます。トラブルに遭っていないくても、心構えができるため、ご覧になることをお勧めします。

移住後をイメージしてもらおうと、17組の移住者に密着した動画を作りました。移住までの経緯や生活の様子を知ることができます。綾部市での暮らしを楽しんでいる皆さんを、ぜひご覧ください。



移住者紹介動画



こちらへんのことつたえ隊 水田ウタコさん

動画でPR!

市はこのほど、移住を促進するための動画を作成しました。動画は「こちらへんのことつたえ隊」と共同で制作。「移住立国あやべ」のホームページ=右下QRコード=で公開しています。



空き家を放置するとどんなリスクがあるのでしょうか?

空き家対策啓発動画



移住者紹介動画



空き家対策啓発動画

市内には1000件以上の空き家がありますが、そのほとんどは活用されていないのが現状です。動画は、空き家の活用方法と空き家を放置するリスクを、アニメーションを使って分かりやすく説明しています。お気軽にご覧ください。



定住・地域政策課 西山功祐



善言 語録

本格的なAI時代

159

間と自動車が速さを競っているの如きであるらしい。その意味では、オリンピックの1000m競争は生身の人間が持つ脚力の限界に挑戦する意味において意義があるように、囲碁、将棋やチェスにおいてもまた然りなのである。

対話型のAI（人工知能）ツールが話題になっていく。人間の話し言葉を理解し、人間が理解しやすい文章を作る能力を獲得したソフトだ。あらゆる質問に対し、AIが過去の膨大な文献を読み解き、さらには将来の予想も含めて最適の回答を短時間に導いてくれる。諸々の挨拶文や手紙の返信、作詞作曲から今夜食べたいメニューの選択までしてくれるソフトの出現だ。著作権や個人情報保護の取り扱い、あるいは間違った回答をした場合の賠償責任など課題も指摘されているが、ここまで発達した魔法のようなソフトがこれからは不可逆的に進化することは間違いない。

もはや囲碁、将棋やチェスの世界で、AIが勝つか人間が勝つかの議論は過去のもので、それは人

間と自動車が速さを競っているの如きであるらしい。その意味では、オリンピックの1000m競争は生身の人間が持つ脚力の限界に挑戦する意味において意義があるように、囲碁、将棋やチェスにおいてもまた然りなのである。

AIを内蔵したロボットも人間だ。ペットに似せて動物を模したものの、また人間の言葉で会話を楽しめるものなどが既にあり今後のさらなる進化に期待する一方、昭和生まれの我々の世代にとっては、あまりにも急な変わり様になる。一番気にかかるのは、ロボットに人間の喜怒哀楽が理解できるのか。すなわち「感情認識AI」の開発が可能なのか？であるが、専門家によると怒りや欲望などの認識は可能らしい。それを踏まえての「微妙な返し」まで今後の課題といい、しかしそれさえも時間の問題であるとも言われると、いざれ人間と喜怒哀楽を共有するロボットの出現も夢ではない。語呂合わせだが、AI=あい（愛）とも読める。私の目の黒いうちに働けたり、甘えたり、Loveの駆け引きをするロボット（ラブボット？）が誕生するのであろうか。楽しみがまたひとつ増えた。

山崎善也（綾部市長）

中上林の災害対応を強化

市消防団（白波瀬博之団長）は4月17日、八津合町の中上林公民館で、上林分団（中上林地区）機能別消防団員の発足式を行いました。団員は、消防団OBなどで構成される54～65歳の26人。勤務のため消防団員が少なくなる昼間の災害対応を強化します。

団員を代表し、白波瀬団長から任命書の交付を受けた陸合町の福井由之さんは「地元のためにできることはないかと思い入団した。これまでの経験や土地勘を生かして、中上林地区の安全・安心を守りたい」と決意を述べました。



市道宮代豊里線の拡幅工事が完成

市が平成28年度から進めてきた、宮代町と位田町を結ぶ市道宮代豊里線のうち、最南区間（事業延長約165m、事業費約4.5億円）の工事が完了。4月25日、あやべ・日東精



エアリーナ（市民センター、西町三丁目）で式典を行い、地元住民や関係者らが完成を祝いました。今回の工事により、井倉踏切付近が拡幅され、通行の安全性と利便性が向上。JR綾部駅北側へのアクセスが良くなり、駅周辺の活性化や交通緩和も期待されます。



綾部のまちなかに賑わい戻る



あやべ丹の国まつり（同まつり実行委主催）が4月29日、市街地周辺で開催。来場者約8,000人が、本市出身のプロレスラーによる凱旋試合やクイズ、eスポーツ大会、芸能発表会、模擬店など多彩なイベントを楽しみました。1回目のまるばつクイズに優勝した栗町の四方歩くくん（7歳）は「学校や病院の数の問題が難しかった。優勝できてうれしい」と笑顔を見せていました。

また、この日は、青野町の由良川花庭園で30回記念となるあやべ由良川花壇展を開催。花苗の販売やツリークライミング、特設ステージでのパフォーマンスが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

550人が水源の里を駆ける



4月9日、末舗装路を走る「トレイルラン」の大会が市内で初めて開催されました。陸寄町の二王公園を発着点に、シデ山を登り二王公園に戻る15キロと、二王公園を通過し光野峠や福井県境の三国岳を回る50キロの2コースに全国から550人が参加。コース内にはエイドステーションが設けられ、市志公民館（五泉町）では市志汁（上林鶏の芋煮）が振る舞われるなど、参加者は地元の特産品を楽しみながら上林の大自然の中を力強く駆け抜けました。

庁舎の地下をリニューアル

市役所本庁舎の地下を改修しました。改修に伴い、誰でも自由に使えるフリースペース（テーブル席39席とカウンター席5席）を新たに設置。併設している食堂や売店を利用するときや、手続きの待ち時間などに気軽にご利用ください。利用できるのは、開庁日の平日午前8時30分から午後5時15分までです。



市立病院に新任医師

青野町の市立病院（高升正彦院長）に5月1日、泌尿器科の西垣遼医師が新たに赴任しました。着任に当たり、西垣医師は「微力ながら皆さんのお力になれるよう尽力し、綾部市での地域医療に貢献したいと思います。よろしくお願ひします」と話しました。





私たちの心のふるさと、水源の里。集落の元気のヒミツや日々を楽しく暮らすコツを探ります。

水源の里 老富



できたてのどち餅を手際よく袋詰めしていく（マスクは撮影のため一時的に外しています）



どち餅作りが元気の源に

平成18年、水源の里条例に基づき初めて指定された集落のうちのひとつが「老富」。女性が中心となって農産物の販売や加工に取り組み、大唐内、栃、市茅野の3自治会合同で活動を始めた。集落では、コロナ禍以前には年間1万7千人が訪れた観光地「ミツマタ・シャガの群生地」や休憩所「花やどり」Ⅱ写真左Ⅱの管理運営のほか、特産品のどち餅づくりなどを行っています。

どち餅は、トチノキから採れる実を使って作る集落の人気商品です。実のアク抜きは根気のいる工程ですが、作業する女性は「この仕事があるから元気なやで！」と笑顔。代表の酒井省吾さんは「これからも活動を続けて地域を存続させていきたい」と話します。



ミツマタ・シャガの開花に合わせて、どち餅などの特産品を販売

シリーズ 人権を考える

⑬ アンコンシヤス・バイアス

このコーナーでは、シリーズで人権に関する情報をお知らせします。



無意識の思い込みや偏見

多様な価値観などを認め合う社会の実現を妨げる一つの要因に、アンコンシヤス・バイアスがあります。アンコンシヤス・バイアスとは、無意識の思い込みや偏見のこと。過去に経験したことや周りの環境などから、自分では気付かないうちに身につけているものです。

知らず知らずのうちに...

次のような感覚を持ったことはありませんか。血液型でその人の性格を想像▽評判やうわさで相手を見る▽家事や育児は女性がするもの▽普通はこうだ、こうあるべきだと決めつけるーなど。

このように、私たちは、自分でも気付かないうちに「決めつけ」や「押しつけ」をしてしまい、知

無意識の偏見に気付こう

自分自身の経験や見聞きで身に付いた感覚は、意思決定をする上での判断材料となります。問題となるのはゆがんだ「思い込み」「決めつけ」「押しつけ」によって、無意識のうちに相手を傷つけたり苦しめたりすること。自分自身や周囲が持つ偏見に気付くことが、一人ひとりの多様性を認め合う社会の実現への第一歩となります。

環境コラム

考えよう。私たちにできること

コロナ禍が落ち着き、外食が増えるこの機会に、改めて食品ロスについて考えてみませんか。市民一人ひとりができる取り組みを紹介しします。

食品ロスの削減を

日本では、食べられるのに捨てられる「食品ロス」の量が、年間522万トンと推計されており、国民全員が毎日おにぎり1個（113グラム）を捨てている計算になります。

日本の食品ロス量年間522万トンのうち、事業系は275万ト



できることから始めよう

一人ひとりの「もったいない」の心掛けによる取り組みが、食品ロスやごみの削減につながり、環境負荷の軽減に貢献します。

買い物をするときは▽買い物前に冷蔵庫や食品庫にある食材を確認する▽まとめ買いを避け、必要な分だけ買う▽期限表示の意味を正しく理解するーなどを心掛けましょう。また、家庭では▽野菜は冷凍・茹でなどの下処理をしてストックする▽作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピなどで工夫し、食材を上手に使い切る▽体調や家族の予定も配慮し、食べ切れる量を作るーなどの工夫をしましょう。



今月の手話

仕事



両手の手のひらを上に向け、左右から指先を2回近づける

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

資料館だより

令和5年度 古文書講座

江戸時代の古文書を読んでみませんか？

- 日程：※コースはどちらか1つを選んでください。
●初心者コース 初めて古文書を読む人
7月22日(土)、8月12日(土)、9月16日(土)、10月21日(土)、11月18日(土)、12月23日(土)
●経験者コース 古文書を読んだことがある人
10月21日(土)、11月18日(土)、12月23日(土)、輪読会(1月)
時間：午後1時30分～3時(輪読会の日時は別途指定)
場所：中央公民館(里町) 受講料：300円(資料代)
定員：各コース 25人(申込多数の場合、綾部市民優先で抽選)
締め切り：6月30日(金)(必着)
申し込み：①住所②氏名③年齢④(連絡がつく)電話番号
⑤希望コースを記入しメールかファクス、持参で文化財担当へ。
主催：市教育委員会、綾部史談会

<問い合わせ>
社会教育課 〒623-8501 若竹町8-1
電話(42)4328、ファクス(43)2134(資料館)
メール: shakaikyoiku@city.ayabe.lg.jp
※メール申し込みの場合は、shakaikyoiku@city.ayabe.lg.jpのアドレスが受信できるように設定の変更をお願いします。